

## 2011年度受託研究概要報告

## 三宮中央通り駐車場基本デザイン提案

## 研究メンバー

荒木優子 ビジュアルデザイン学科准教授

## 委託者

神戸市道路公社

## 研究概要

三宮中央通り駐車場は、市営駐車場の中で最も市の中心にある地下2階建て構造の駐車場である。平日にはビジネス利用者と契約車両が多いが、週末はショッピングや観光を目的とした一般利用者が主となる。

神戸市道路公社のオリエンテーションを受けて、現地調査を行った結果、以下の大きく4つの問題点が挙げられた。

- 1) 増築されたために動線が複雑な回遊式で、初めての利用者にはたいへん方向認識がしづらい。
- 2) 地下駐車場特有の圧迫感・閉塞感が高い。また築年数を経ており、新設の駐車場と比べても天上高や駐車プロットが小さい。
- 3) 現状サインの不適正・不整合。さらに後付けの貼紙がいたるところに掲出され美観を損ねている。
- 4) 駐車場における空間デザインの陳腐化。これは建設当初のサイン計画が正しくなされていないと思われる。観光客の利用も多い駐車場なので、神戸のイメージアップにつながるような環境デザインが必要である。

これらの問題点を解決する方法をさまざまな角度から検討し、再整備のための具体的なプランを提案した。本研究には、大学院生も現地調査から加わりデザインの提案を行なった。

## 研究成果

再整備計画案では、駐車場の機能空間における、国際都市・神戸にふさわしい合理的で明快なデザインを目標とした。

駐車場空間、および駐車場のサインの考え方を明確にした上で、ゾーニングと個々のデザインを行ない、主要なイメージパースを制作した。

2012年4月4日に、道路公社、および神戸市、駐車場運営担当者に対してプレゼンテーションを行った。

4月26日に公社内で検討の結果、概ね提案内容で進める調整ができたとの連絡を受けた。駐車場を営業しながらの工事になるため、これから費用の積算・施工方法等を検討して、今年度どこまでの工事を行うか判断することである。提案に盛り込んだLEDについては、次回の照明更新時期まではむずかしいとのことであった。